

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲所（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

08-026

本 省 著

柳 人 誌

在韓ひ爆者支援

秘密指定解除
公文書監理室

第3114号 秘 大至氣

(以下FAX送情 SO6955-01)

企安	
----	--

秘密指定解除

公文書監理室

SO 6955-2 /

貴電ア北1206号及び往電2978号に関し、

1、8日、外務部趙重杓（チョ・ジュンピョ）東北亜1課長より大江に対し連絡越したところ、以下の通り。

（1）在韓被爆者支援の口上書の交換については、局長まで上げて内部で縦横検討した結果、以下のような結論となった。

（2）日本側が要望越している韓国側口上書での「17億円」の言及については、韓国側として17億円に言及すること自体が特に問題があるとは考えていないが、他方、17億円というのは、盧泰愚（ノ・テウ）大統領訪日の際に発表された40億円のうち、日本国内の予算手続きとして初年度にどれだけの額を支出することとしたかという数字であり、韓国側から初年度17億円の支出を希望するという性格の数字ではない。従って、日本側からまず口上書を発出しその中に17億円という額が言及されていれば、それを受けて発出する韓国側口上書で17億円に言及することは可能かもしれないが、韓国側から先に口上書を発出する場合には、その口上書の中で17億円に言及することは適切でないし、国内的にも説明出来ないと思われる。韓国側としては以上2つの方法のうちどちらでも差し支えないが、

日本側においてどちらの方法が望ましいと考えるか検討の上考え方を教えて頂きたい。

（3）40億円に「程度」という語をつけてほしいという日本側の要望には特に問題はなく“approximately”という単語を入れれば良いと思う。

2、については、以上の考え方につき検討の上結果回電願いたい。